

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

外部評価の結果

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)

「このコーヒーはおいしいよ。ちょっと、このお客さんにもコーヒー出してあげてえな」リハビリ室から帰ってきて、一息入れる さんの笑顔はとても爽やかだ。毎朝の日課となっている1時間のリハビリ体操や民謡、歌等は利用者の生活リズムのうたてであり、暮しの場からの気分転換となっている。勿論、生活リハビリや健康観察にも大いに貢献している。 さんの「朝のひと仕事を終えたなあ！」といった満足感は、お早弁でいただく私のコーヒーにまで伝わってくる。

ひと仕事の後は、気ままだいい。居室に帰って休む人、エプロン姿で調理する人、洗濯物の片付けをする人、かなり難しそうなクロスワードパズルに挑戦する人、テレビをのんびりと見る人等、さまざまだ。「あれが無い日は忘れ物をしたようだな」と話す さんは、ここの生活がすっかり自分のペースになっている。

広い畑のあるホームは確かにうらやましいことだ。しかし、狭いベランダでも楽しみを見つけることが出来る。利用者や職員が長い日々丹精込めてプランターや鉢で育てたイチゴやミカン、モモを収穫し、ショートケーキやゼリーにして楽しむ。こんな細やかな日々の出来事が幸せ感を膨らませてくれるのではないだろうか。職員の温かい心を感じる。

「これから先、たとえ病気になったり、動けなくなっても、ここなら安心しとれるからなあ」と言う さんの言葉と笑顔から、介護と医療が一体となっているグループホームならではの安心感が伺える。

特に改善の余地があると思われる点 次のような提案をした

個人の介護記録、特にバイタル面や生活の記録は、とても綿密で詳しくなされている。この長所は、今後、利用者の状況が年々重度化してくるのに伴って問題化してくるのではないかとと思われる。寄り添う時間を少しでも多く取る為、今から「一目で分かり易い」「省ける所は思い切って省く」工夫をしてみてもどうか。

「利用者本人が何をどうしたいのか？心の奥では何を感じ何を訴えたいのか？」知ろうとする努力や試みがなされていることは十分伺えるが、こういったメンタル面にウエイトを置いたサービスを少しずつ増やしていただきたい。

「安心してまかせられるホーム」といった印象が強いだけに、家族や地域社会への協力要請の手を緩めないで下さい。ホームを開放して風通しを良くする事は、多少の混乱があってもお互いの為になると思えます。

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		

記述項目 一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か

1階リビングには「今年の抱負」が掲示してある。自筆のものもあり「頑張って歩く」という目標から「初恋の彼に会いたい」という楽しいものまで色々で、一人ひとりの思いや力を尊重し、大切にしていこうとする職員の思いが伝わってくる。訪問者の私達をそこまで案内し「私が書いたんじゃ」と自慢そうに さん。このホーム内で、一つでも二つでもこんなに自慢できるチャンスと場をこれからも工夫し、見付けていって欲しい。人はどんなに年取っても、光が当てられ、時には「主役」になりたいと思う。その為の取り組みを今後も期待している。

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		

記述項目 サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。

「このホームの室を高め、少しでも向上したい」という真摯な姿勢がよく伺われた。数少ない家族からの要望も「苦情に関する記録」としてきちんと対応している。家族がほんの些細な事でも気楽に言い易い空気をつくる工夫と努力が更にこのホームを素晴らしいものにしていく。外部評価の結果、見直しもよく出来ている。

また、「ヒヤリハット、アクシデント発生報告書」も実によく拾い上げ対処している。こういった姿勢が重大な問題発生を防止しているのだろう。

こんなに意欲的で前向きなホームに、家族や地域、第三者が今以上に加われれば、もう言う事はない。

事業所名 グループホーム あけぼの

日付 平成18年3月31日
特定非営利活動法人

評価機関名 ライフサポート

評価調査員 在宅介護経験9年
評価調査員 在宅介護経験12年
評価調査員 在宅介護経験17年

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります！)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		

記述項目 グループホームとしてめざしているものは何か

内科病院と一体型で緊密な連携体制が整っているだけでなく、理事長、院長、総看護師長を始めとして多くの協力者や関わりが得られるこのホームは、家族にとって何より難く安心と言う大前提がある。なかでも「可能な限り自分の足で、自分の体で」の為に生活リハビリの数々。そして「毎日継続している」ということは、このホームならではの特徴と言える。

ホーム内での自由な時間にも、職員のそれとない気配りや誘導によって、利用者一人ひとりが夫々に合った事に取り組み、充実した一日となっている。

このホームが目指す「家庭に近い環境・利用者の充足感・生活のものをリハビリに」の思いがしっかりと叶えられていると思う。

生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		

記述項目 入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か

「聴かしいけど、まあ見て下さい。ええトイレでしょうが」と さんは自室のあれこれを説明してくれる。マイトイレが何より嬉しいようだ。

木組のこだわりがあちこちに見られる居室や廊下、特製の木の座椅子、畳コーナー等それぞれの居場所を心地良く提供している。堀コタツでは横になって休む人、足を入れて洗濯物をたたみながらお喋りする人等、自分の家にいる感じだ。

居室は和室、洋室があり、利用者それぞれの個性を出した場となっている。

ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		